

ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成活動報告書(令和2年度)

活動テーマ	<input type="checkbox"/> 高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 <input type="checkbox"/> 子ども・若者世代を支援する活動 <input type="checkbox"/> 世代間の交流を進める活動 <input checked="" type="checkbox"/> 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	ふらり赤い椅子プロジェクト		
団体名	ふらり赤い椅子 (2020 年 4 月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	198,003 円		
助成額(当初交付)	190,000 円	助成額(決算)	190,000 円
活動目的	「まちなかに一休みできる赤い椅子を置く」 阿佐谷の街に、誰でも自由に座ってくつろげる「赤い椅子」を設置し、足が弱い人でも安心して街歩きができることをめざした。		

1 活動の実施状況

*** 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。**

実 施 状 況	<p>【運営体制づくり】<input type="checkbox"/></p> <p>7月～<input type="checkbox"/>椅子寄付受取りと保管・椅子設置要望ヒアリング(アンケート用紙) 8月～<input type="checkbox"/>椅子加工用備品購入および作業場所等の確保・椅子の研磨作業 9月～<input type="checkbox"/>椅子のペンキ塗り→ペンキ乾燥→運送→ペンキ2度塗り→ペンキ乾燥→ニス塗り→ニス乾燥→シール作成貼付 10月～設置場所への運送 <input type="checkbox"/></p> <p>【広報】<input type="checkbox"/></p> <p>6月<input type="checkbox"/>フレット作成、椅子募集チラシ作成、アンケート用紙作成 7月～<input type="checkbox"/>阿佐谷地区町会への協力依頼(阿佐町連および各町会役員会) 11月～阿佐谷地域区民センターまつり出展準備(開催中止) <input type="checkbox"/></p> <p>【会議】<input type="checkbox"/></p> <p>8月20日 JR東日本都市開発との情報交換 (15名) 11月12日 吉祥寺「赤い椅子プロジェクト」との情報交換(15名) 12月24日 阿佐谷地域区民センターまつり出展について(10名) 2月3日 実績報告、次年度活動計画など(7名) ※すべて阿佐谷地域区民センター集会室</p>
	<p>■特筆事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染予防のため定例会議は行わず電話やSNSにて意思疎通を図った。 ・ 次年度以降の活動資金調達のために計画していたイベント開催やイベント出展は中止となった。

活動名	ふらり赤い椅子プロジェクト
-----	---------------

2 実施活動の効果・成果

* 助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<p>【効果】</p> <p>ふらり赤い椅子プロジェクトの活動が広く認知されたことで賛同や協力を得ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不要になった木製椅子の収集については、予想を上回り多くの寄付を賜った。 ・難航を予想していた椅子の設置場所については、メンバーの積極的な広報活動により多くの提供を受けた。 ・プロジェクトへの励ましや意見を頂戴する機会が増えた。 ・姉妹プロジェクトとの連携が進んだ。 ・他地域の方が主旨に賛同し赤い椅子活動をスタートした。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木製椅子の寄付 29脚 ・椅子加工数 19脚 ・椅子設置数 19脚 ・設置個所数 10箇所 <p>【地域への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・椅子があるから一人で外出できるというご高齢の方からの声が届いている。 ・小さいお子さん連れのご家族や小学生も赤い椅子を利用している。
-------	--

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	<p>【課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 椅子の寄付が急速だったため、保管場所の確保が課題となった。 ② 地域住民で集まってペンキを塗るなどのイベントができなくなり、加工環境整備が課題となった。 ③ イベントにて次年度以降の活動資金としての寄付を募る予定だったが全て中止となったため資金集めが課題となった。 ④ 定例会議が開催できず、設置した椅子のメンテナンス体制が確立されていないことが課題として残った。 <p>【次年度予定】</p> <p>下記の通り、課題への対策を踏まえ、活動を継続します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保管場所については、プロジェクト参加メンバーによる分散保管体制を作る。 ② 椅子の加工手順を詳しく書いた説明書等を用意し、研磨から完成まで少人数で個別にできる体制を作る。 ③ 活動資金集めについては、吉祥寺の赤い椅子プロジェクトを参考にしながらアイデアを募り実施していく。 ④ 設置場所マップができてきているため、各担当を決め、定期メンテナンスの体制を作る。

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

		予算額(円)	決算額(円)	内訳
収入	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金	190,000	190,000	
	団体負担金		8,003	
	活動収入			
	その他の収入			
	計	190,000	198,003	予算額計、決算額計とも支出の計と合致すること

活動名	ふらり赤い椅子プロジェクト
-----	---------------

支出	費目	予算額(円)	決算額(円)		内訳・増減理由
	謝礼金等	12,000			新型コロナウイルス感染予防のためのイベント中止に伴い講師への謝礼がなくなった。
			うち 助成額		
	消耗品費	50,981		88,154	椅子加工用サンドペーパー、塗料、ニス、シール等(椅子寄付多数にて増額)
			うち 助成額	88,154	
	印刷費	44,800		10,906	リーフレット2000部(新型コロナ感染予防のためイベント中止によりチラシ代減額)
			うち 助成額	10,906	
	通信運搬費	8,800		126	椅子運搬費はイベント中止のため減額
			うち 助成額	126	
	使用料・賃借料	35,300		53,700	会議室使用料および椅子保管作業場所使用料(感染予防のため椅子保管場所代など増額)
		うち 助成額	45,697		
備品費	27,852		43,017	椅子加工用研磨機、塗装用道具(感染予防のため個別作業となり増額)	
		うち 助成額	43,017		
その他の経費	10,267		2,100	ボランティア保険(イベント中止で減額)	
		うち 助成額	2,100		
計	190,000		198,003	執行率 (決算額/予算額) 100%	
		うち 助成額	190,000	予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること	

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input type="checkbox"/> ほぼできた <input checked="" type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。 新型コロナウイルス感染予防のため、イベント開催、定例会議開催、各種検討会ができず、活動内容としては不十分な点が多かった。しかし、メインとなる椅子の加工については個別または少人数で作業を行うことができた。
	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。
	<input checked="" type="checkbox"/> 適切であった <input type="checkbox"/> ほぼ適切であった <input type="checkbox"/> あまり適切ではなかった <input type="checkbox"/> 適切ではなかった
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。 「まちなかに一休みできる椅子を置く」 ふらり赤い椅子プロジェクトの活動が広く認知されたことで賛同や協力を得ることができた。 ・木製椅子の寄付が予想を大きく上回った ・赤い椅子の設置場所への提供が予想を上回った
	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がり了吗か。
	<input checked="" type="checkbox"/> 広がった <input type="checkbox"/> 多少広がった <input type="checkbox"/> あまり広がらなかった <input type="checkbox"/> 広がらなかった ↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。 ・「自宅の近くに椅子を置いて欲しい」(アンケート) ・「椅子があるから一人で通院している」 ・「町会内に積極的に設置を進めていきたい」 ・「活動について教えてほしい」 ・東京新聞(3/16)朝刊に掲載された
	問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。
	<input type="checkbox"/> 充分できた <input checked="" type="checkbox"/> ほぼできた <input type="checkbox"/> あまりできなかった <input type="checkbox"/> できなかった ・足が弱い人が安心して街なかを歩けること ・椅子に座れば知らない人同士でも自然におしゃべりができ、交流のきっかけになっている ・赤い椅子が目に入ることで、お互いを思いやる意識が街中に広がっていくことを願っている
	問7 助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。
	助成を受ける前は、椅子の研磨は手やすりで行っていた。また、塗料については安価なものを試しながら使っていた。助成を受けたことで、研磨機を購入することができたため、研磨に掛る時間が大幅に短縮され磨き残しがなくなり作業効率が向上した。また塗料の質を上げることができ発色がよく乾燥時間が劇的に短くなった。このように作業性と品質が上がったことでメンバーのモチベーションが高くなっている。
その他	問8 自由意見
	最初の活動のヒントになった吉祥寺の赤い椅子プロジェクトのWebサイトに阿佐谷のふらり赤い椅子の活動が姉妹プロジェクトとして紹介されている。大阪では赤いベンチを置く活動もあり、微々たる活動でも全国的に認知されていくことをめざしたい。

活動報告書

ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成活動報告書(令和2年度)

活動テーマ	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の日常生活や健康づくりを支援する活動 <input type="checkbox"/> 子ども・若者世代を支援する活動 <input type="checkbox"/> 世代間の交流を進める活動 <input type="checkbox"/> 誰もが住みやすいまちづくりを進める活動		
活動名	高齢者の居場所づくり		
団体名	カフェ はなかいどう (2019年12月設立)		
活動費 (事業終了後確定額)	499,245 円		
助成額(当初交付)	532,000 円	助成額(決算)	499,245 円
活動目的	疎遠になりつつあるご近所の高齢者が集い、情報交換やおしゃべりをする居場所を作ること。		

1 活動の実施状況

* 実施日時、場所(会場)、対象者、参加人数等、活動の具体的な実施状況を記入してください。

実 施 状 況	2020.4	コロナ禍のため活動休止
	2020.5	コロナ禍での活動継続に向けてスタッフでOn-lineミーティング実施 (スタッフ4名@長田宅)
	2020.6	室内での飲食活動を屋外での活動にシフトする活動の準備を開始。(スタッフ3名@長田宅)
	2020.7	屋外活動(ガーデニング体験とおしゃべり)のための庭造り開始(スタッフ4名@長田宅)
	2020.8	スタッフ向け 認知症サポーター養成講座の実施(スタッフ3名@長田宅)
	2020.9	花壇づくり開始 (スタッフ3名@長田宅)
	2020.10	台風のため作業中止、今後のスケジュール確認ミーティング実施 (スタッフ4名@長田宅)
	2020.11	活動再開 地域住民と花壇の整備、樹木版の作成などの作業を屋外で行った。(参加者9名@長田宅)
	2020.12	住民とともに種撒き、苗の植え付け、樹木の干渉をしながら 交流。(参加者8名@長田宅)
	2021.1	緊急事態宣言発令のため住民の参加は自粛し、スタッフでガーデンの手入れ実施 カフェはなかいどう 総会実施
	2021.2	緊急事態宣言発令のため住民の参加は自粛し、スタッフでガーデンの手入れ。 収穫物を住民におすそ分け。
	2021.3	緊急事態宣言発令のため住民の参加は自粛し、スタッフでガーデンの手入れ。 収穫物を住民におすそ分け。

活動報告書

活動名	高齢者の居場所づくり
-----	------------

2 実施活動の効果・成果

* 助成を受けたことによる効果・成果(地域への貢献)を、記入してください。

効果・成果	<p>コロナ禍で地域高齢者の活動が制限される中、活動を継続できるよう 衛生用品、飛沫防護などの環境を整備し 活動継続を模索することができた。</p> <p>活動の場として長田宅の庭を開放し、3密を回避できる環境を設定。</p> <p>飲食を伴う活動からガーデニング活動という形に移行し高齢者の居場所づくりを継続することができた。</p>
-------	--

3 今後の課題及び翌年度以降の活動予定

* 課題の要因も併せて記入してください。

活動を実施した結果見出された課題及び翌年度以降の活動予定	
課題・活動予定	<p>本来の活動が本格化する時期に感染症の影響で活動内容を変更することになった。</p> <p>屋外でのガーデニング活動で、よりオープンな交流に発展させたい。</p> <p>ただし、屋外での活動は天候などにも左右され、日々の手入れが主となるため、タイムフリーの参加が求められることを今後の課題とした。</p> <p>休止中の昼食の提供も再開、ガーデニング活動と両立させたい。</p> <p>また、高齢者が気軽に、交流できる場所として多目的に提供したい。</p>

4 収支決算書

* 収入・支出ともに予算額は申請時の金額を記載します。

		予算額(円)	決算額(円)	内訳
収入	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金	532,000	499,245	
	団体負担金			
	活動収入		0	
	その他の収入			
	計	532,000	499,245	予算額計、決算額計とも支出の計と合致すること

活動報告書

活動名	高齢者の居場所づくり
-----	------------

費目	予算額(円)	決算額(円)		内訳・増減理由
		うち助成額		
謝礼金等	30,000	25,000		園芸指導 →天候等の理由により開催回数減
		うち助成額	25,000	
備品・消耗品費	460,000	437,703		【活動必需品】 庭作業用品(種苗類、用具他) 鍋、文具 日用品(ゴミ袋、電池他) 【コロナ対策】 飛沫防止衝立、アルコールディスペンサー、体温計、 清浄機能付きファンヒーター 除菌用アルコール、ペーパータオル他 【事故・転倒防止】 玄関手すりおよび補助ステップ 日よけ、消火器、救急セット他 【広報用品】 旗、告知用額、封筒など
		うち助成額	437,703	
通信・運搬・交通費	30,000	34,392		切手、荷造運賃、講師車代(ガソリン代) →活動の定着を図るため郵送による広報活動資金として切手を購入
		うち助成額	34,392	
保険料	2,000	900		ボランティア保険
		うち助成額	900	
印刷費	10,000	700		案内作成代
		うち助成額	700	
その他の経費		550		振込手数料
		うち助成額	550	
計	532,000	499,245		執行率 (決算額/予算額) 93.8%
		うち助成額	499,245	予算額計、決算額計とも収入の計と合致すること

支出

活動報告書

活動名	高齢者の居場所づくり
-----	------------

5 自己評価

目的	問1 活動は当初の目的どおり実施できましたか。
活動内容と実施	問2 計画したとおり(活動内容、スケジュール等)実施できましたか。
	↓「あまりできなかった、できなかった」と回答した場合は理由を記入してください。 緊急事態宣言で活動が制限されたため。
	問3 申請時の収支見込は適切でしたか。
効果・成果	問4 計画通りの実施効果を得ることができましたか。
	ささえあい活動(長寿応援ファンド)助成金交付申請書「2活動計画書」の申請目的欄に記載した内容に対応させてください
	↓「充分できた」「ほぼできた」の場合は効果の具体的内容を、「あまりできなかった」「できなかった」場合は課題となった点を記載してください。
	・コロナ禍での活動に必要な衛生消耗品等をそろえることで、コロナ下での活動継続が可能となった。
	・実施可能な活動への移行は助成金がなければ実現できなかった。
	問5 今回の活動を通して、理解者や支援者は広がり了吗。
	↓参加者や支援者などから寄せられた声を具体的に記載してください。 「コロナ禍で行くところなくなったが、予定表に予定を書き込めることがうれしい」との意見が複数あった。
問6 実施した活動はどのような点で地域貢献になっていますか。	
コロナ禍での数少ない地域活動の一翼を担った。 行き場のなくなった地域高齢者に楽しんでもらうことができた。	
問7 助成を受けたことで生まれたと考える効果を具体的に記載してください。	
・参加者の参加費(飲食代)が唯一の資金源の団体だったので助成がなければ コロナ禍では活動は中止するしかなかった。 ・助成金で代替えの活動ができたからこそ地域の参加者との交流を維持することができた。 ・今後はコロナが終息しなくても、地域活動を継続することができる。	
その他	問8 自由意見